

令和元年度 周南市教育委員会の重点施策について（補足資料）

1. 学校施設等長寿命化計画策定事業

- 今後の学校施設の維持管理にかかるトータルコストの縮減及び財政支出の平準化を図るため、改築や長寿命化改修といった施設のメンテナンスサイクルの構築につながる長寿命化計画を策定する。
- 対象施設は小学校・中学校・幼稚園とし、劣化状況の把握のための調査・分析を行ったうえで、維持・更新コストを試算し、改修に関する財政負担の軽減に向けた維持保全の方向性について検討する。

（１）概要

対 象：小学校（２８校）、中学校（１５校）、幼稚園（８園）
 ※大津島幼稚園、大津島小学校、大津島中学校を含む。

策定期期：令和元年度中に策定

予 算 額：２５，８１７千円（予算額）

（２）スケジュール

		平成30年度 (2018年)			令和元年度 (2019年度)											
		1～3月			4～6月			7～9月			10～12月			1～3月		
事業者との契約		委託事業者の募集・選定・契約														
実 態 調 査	既存資料の 収集・整理				建築・改修時の工事履歴等のデータ収集・整理											
	劣化状況調査				現地調査及びコンクリートの強度確認											
計 画 策 定	維持・更新 コストの試算							維持・更新コスト試算								
	長寿命化計画の 策定									各施設の改築・長寿命化改修の内容・時期等を含めた計画の策定						

2. 小・中学校改修事業（事業費 935,644千円）

（1）小学校改修事業（事業費 863,922千円（前年度繰越事業費を含む））

工事名等	予算区分	予算額	事業概要
久米小学校校舎増築工事	現年	278,940千円	久米小学校の児童数の急増に伴い、普通教室8教室を新たに整備するための増築工事を実施する。（ 施工中 ）
勝間小学校水道接続工事	現年	15,552千円	熊毛地区での上水道の供用開始に伴い、勝間小学校の水道施設を簡易水道からの切り替え工事を行う。（ 完了 ）
福川小学校プールろ過機改修工事	現年	21,769千円	経年劣化が著しい福川小学校プールのろ過機及び保管倉庫の改修工事を実施する。（ 下期着工予定 ）
須磨小学校屋体屋根外改修工事	現年	68,339千円	経年劣化した須磨小学校屋体の屋根やトイレの改修等により安心安全な教育環境を確保する。（ 施工中 ）
今宿小学校外壁改修工事（Ⅲ期）	繰越	95,491千円	平成29年度から3か年事業として実施する今宿小学校の外壁改修について、今年度、主に南面の一部とピロティ部分の改修工事を実施する。（ 施工中 ）※工事最終年度
小学校教室棟トイレ改修工事 （岐山、戸田、福川南、三丘）	繰越	164,486千円	施設の老朽化に対応するとともに、洋便器化を進めるため、今年度は岐山、戸田、福川南、三丘の各小学校のトイレについて、経年劣化した床面や壁面、配管等の改修及び和便器の洋式化を図る。（ 施工中 ）

工事名等	予算区分	予 算 額	事 業 概 要
小学校ブロック塀改修工事	繰越	217,171千円	昨年度実施した緊急点検を踏まえ、改修等の措置が必要と判断した12校のブロック塀を改修することで、安心安全な教育環境を確保する。※対象全小学校の改修完了予定 <u>今宿</u>、<u>菊川</u>、<u>岐山</u>（完了） <u>徳山</u>、<u>遠石</u>、<u>桜木</u>（施工中） <u>久米</u>、<u>夜市</u>、<u>湯野</u>、<u>周陽</u>、<u>秋月</u>、<u>鹿野</u>（下期着工予定）

久米小学校校舎増築工事（施工中）



須磨小学校屋体屋根外改修工事（施工中）



今宿小学校ブロック塀改修工事（完了）



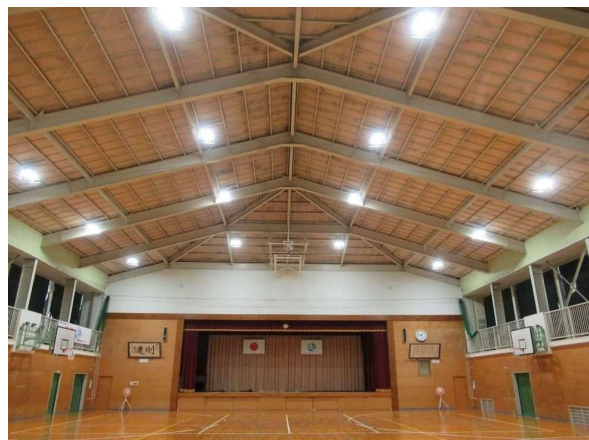
(2) 中学校改修事業（事業費 71,722千円（繰越含む））

工事名等	予算区分	予算額	事業概要
福川中学校教室棟防水改修工事	現年	11,111千円	安心安全な教育環境を確保するため、経年劣化した福川中学校教室棟の防水シートの張り替え等を実施する。 (完了)
須々万中学校屋体照明改修工事	現年	5,445千円	須々万中学校屋体の昇降式照明をLED照明に更新するための工事を実施する。(完了)
中学校ブロック塀改修工事 (周陽、住吉、富田)	繰越	55,156千円	昨年度実施した緊急点検を踏まえ、改修等の措置が必要と判断した3校のブロック塀を改修することで、安心安全な教育環境を確保する。※対象全中学校の改修完了予定 周陽(完了) 住吉、富田(下期着工予定)

福川中学校教室棟防水改修工事（完了）



須々万中学校屋体照明改修工事（完了）



周陽中学校ブロック塀改修工事（完了）



3. 小学校普通教室空調設備整備事業

○学習に集中できる教育環境の整備を図るため、市内小学校25校（整備済みの八代小・鼓南小を除く）へ空調設備を導入する。

○整備にあたっては、児童の学校生活への影響を最小限に留めることを最優先に、夏期休業期間を有効に活用しながら、一括して、かつ可能な限り早期に整備を進めるために、PFI方式により実施する。

(1) 概要

対 象：小学校25校359教室

整備時期：令和2年8月末までに施工を完了し、9月からの運転開始をめざす。

その後、フィルター清掃・法定点検等の維持管理を令和15年度のまでの13年間行う。

発注形式：PFI方式（設計・施工・維持管理を同時に発注）

事業費：1,079,852千円に金利変動、物価変動等に伴う増減額を加算し、消費税及び地方消費税を加算した額（予算額）

(2) スケジュール

	平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年度)				令和2年度 (2020年度)			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
学校協議 (対象教室の選定)	学校協議	学校協議 (事業概要・今後の流れについて)							
事業方式の決定	事業方式の検討・決定								
実施方針等の公表		実施方針等の公表							
実施事業者 申込期間			申込期間						
事業者選定期間 (選定・契約手続き)				事業者選定	契約手続			令和2年9月から試運転開始	
設計 (資材調達を含む)			現地見学会(25校)			設計・資材調達等			
施工						事前準備	施工	試運転	
運転開始 (維持管理 13年間)									維持管理 (令和15年まで)

4. 児玉源太郎資料調査事業

○本市の特色ある取組として、郷土の偉人の業績を周知し、本市の教育や文化の向上に資することを目的として、平成２９年度から３か年事業として児玉源太郎に関する調査を進める。

○最終年度となる令和元年度には、報告書及び児童向け学習資料を作成する。

年度	事業概要
平成２９年度 決算額 4,013,308 円	刊行物や関係文書などの基礎文献をリストアップした。 ※基本方針：国内のみを対象とする 官報など信頼のおける史料で事実確認を行い、年譜概要を作成した。 美術博物館・中央図書館での史料調査（閲覧・撮影）をした。 国立国会図書館・防衛省等での史料調査（閲覧・複写）をした。
平成３０年度 決算額 3,867,303 円	（前年度の取組を継続） 複写史料の解読を進め、雑誌や新聞など各種文献をリストアップした。 山口県文書館・後藤新平記念館等での追加の資料調査（閲覧・複写）をした。 県外の児玉源太郎ゆかりの地（鎌倉市、奥州市など）との情報交換に取り組んだ。
令和元年度 予算額 5,828,000 円	複写史料の解読精査及び史料・文献を目録化する。 報告書及び児童向け学習資料の原稿作成及び編集を行う。 <u>調査報告書</u>（５００頁程度を予定、関係機関等への配布のみ） ＝ 本市との関わり、関係史料（活字化）、足跡・詩文、年譜、史料・文献目録など <u>児童向け学習資料</u>（８頁程度を予定、小学６年生を対象想定） ＝ 子供たちが自らの生き方を考えるにあたり参考となる児玉源太郎の人となりや行動

5. 学校業務支援員配置事業

○事業目的

教員がその専門性を生かしつつ、子供たちに接する時間を十分確保し、真に必要な総合的な指導を継続的に行うことのできる環境を創り出すとともに、学校における働き方改革を進めるため、授業準備等の補助業務を行う学校業務支援員を小中学校に配置する。

(H30 12校に配置 R1 25校に配置)

(1) 事業費、業務内容

年 度	事業費（円）	配置校	小学校	中学校
H30	7,091,280	12	8	4
R1	18,820,000	25	15	10

印刷等業務、学習学級事務業務、集計・データー入力等業務

(2) 時間外業務時間の削減状況 (4月～8月)

(時間)

	H28	H29	H30	R1	H28-R1	H28比較
小学校	48.3	50.3	48.9	45.8	-2.5	-5.2%
中学校	68.4	67.1	65.6	61.8	-6.6	-9.6%

(3) 配置校 (R1 年度)

小学校 15校 徳山、遠石、今宿、久米、岐山、秋月、富田東、勝間 (H30～) 菊川、櫛浜、沼城、周陽、桜木、富田西、福川南 (R元～)

中学校 10校 岐陽、周陽、富田、熊毛 (H30～) 太華、住吉、桜田、須々万、秋月、福川 (R元～)

(4) 成果、今後の取組

- ・学校業務支援員の配置により、教員本来の役割である、子供たちに向き合う時間や教材研究の時間などに費やす時間が増えた。
- ・会議や業務の精選や効率化、教員自身の退庁時刻の意識化など、教員が自らのワーク・ライフ・バランスを見直すようになってきた。
- ・全ての学校で教員が子供たち一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな指導や支援等が行えるよう、中・小規模校なども含む未配置校への配置や大規模校への複数配置も視野に入れ、さらなる増員を図っていく必要がある。

6. (仮称) 西部地区学校給食センター建設事業

○老朽化した徳山西及び新南陽学校給食センターの代替となる施設を整備する。本施設の整備をもって、「周南市学校給食センター建設基本計画」は完結する。

- (1) 名 称 新南陽学校給食センター
- (2) 住 所 周南市福川南町2573番地の36
- (3) 契約金額 4,860,339,041円
上記金額に、金利変動及び物価変動等に伴う増減額を加算した額の範囲内
- (4) 提供食数 1日あたり最大4,000食
- (5) 対象学校 小学校9校、中学校5校 計14校
(小学校：菊川、夜市、戸田、湯野、富田東、富田西、福川、福川南、和田)
(中学校：菊川、桜田、富田、福川、和田)
- (6) 特 徴 ①給食調理作業の様子を見学しやすい食育情報発信の場（多目的室・外部見学通路）を整備
②災害用備品庫及び受水槽を屋根付き車庫の近くに配置し、移動式煮炊釜を利用した炊き出しが可能
③調理員専用通路を一部地下通路とし、一般外来者動線との交錯を回避した安全な衛生空間の確保

○建設中の写真（R1.10.7時点）

北側から



南側から



事業実績及び年次計画

